秋日記

大塚　浩司

9月も中旬を過ぎるとペンションのほうはさほど忙がしくもない。
週末にポツリポツリとお客さんがあるぐらいであとは自由だ。
とくに夜はなにもすることがないのでほとんどこうして絵を画いている。
そんなある晩——。

一月ごとにふえていく落選回数を横目で見ながら入選目ざして絵を画き続けるなんてカッコいいじゃないか。自分の絵が雑誌にのってる夢を何度も見て、ある日、それが実現したらそれこそ最高だと思うよ。

ああ、ロットリングペンね。もらったんだ。同じ太さの線が引けるんだ。インクつぼもいらないし、個性がでにくいペンでさ、定規なんか使わずにヒョロヒョロと画くんだ。おれ。

おおこの感触 われらのコルト45
モデルガンもつの久々だうれしい。
この頃プラが主流でさ。僕も長物以外ほとんどプラだ。
それでいいんじゃないかな,ギャーギャー言われるより
昔から撃つの好きじゃないし。
でも学生時代はよくやったね。河原とか学校でさ
そうそう
学生服の下にホルスター吊るしてさ。
しぶかったなあ

ルール決めて
2組に分かれて
火薬のつづく
限り撃ち合う
ロマンだよ
なあ。
モデルガン
買うために
バイトしたり
さ。

またやりたい
な。
みんな集めて
さ。

どうかな
みんな変わった
し、
それに
大人だしな

でも
俺たち
と
カズオは
変わらんぜ
ああ、
あいつは
変ってない

昔はよく
やった
もんだよ
ねえ。
ああ
本当だ。

早射ち　曲射ち
WESTERN

（ポリスグッズにあこがれながらも）
COWBOY気取り
ウィリーネルソン聞きながら、

昔の夢、未だに覚めず
タバコの煙、目にしみて、

ばんっ

ばんっ

ああ気がつけば20才

あっ
俺のほうが早かったぞ
死ね！

いや！
俺だよ
0.1秒ほど！

END